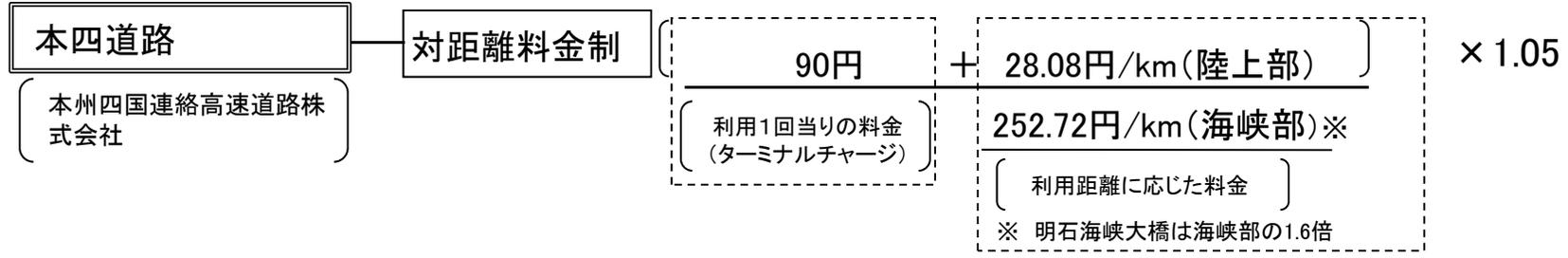
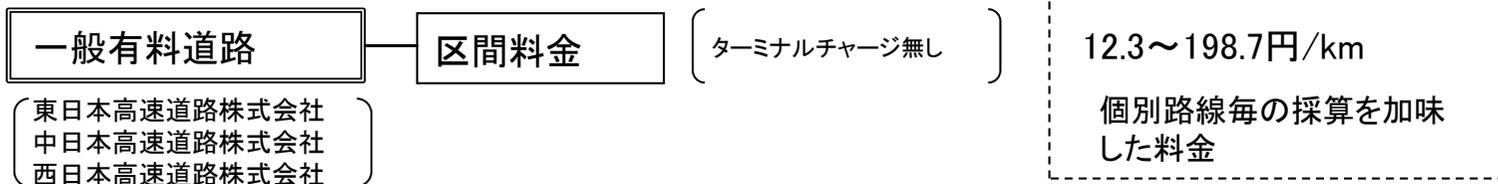
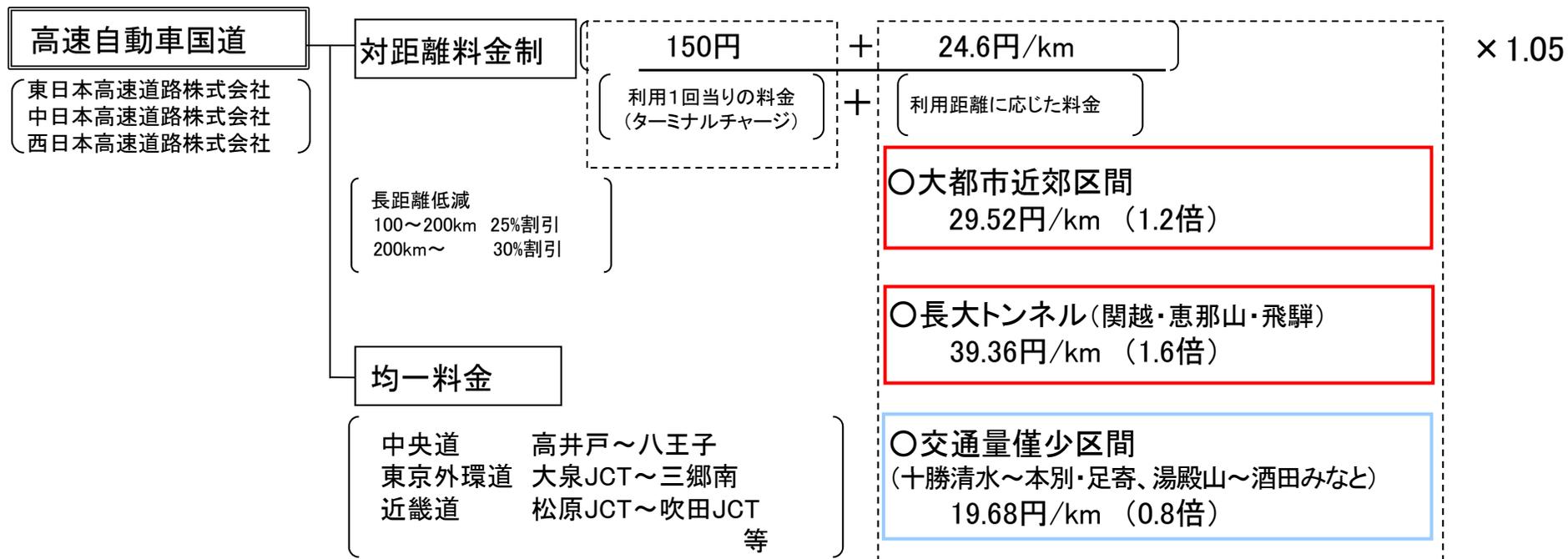
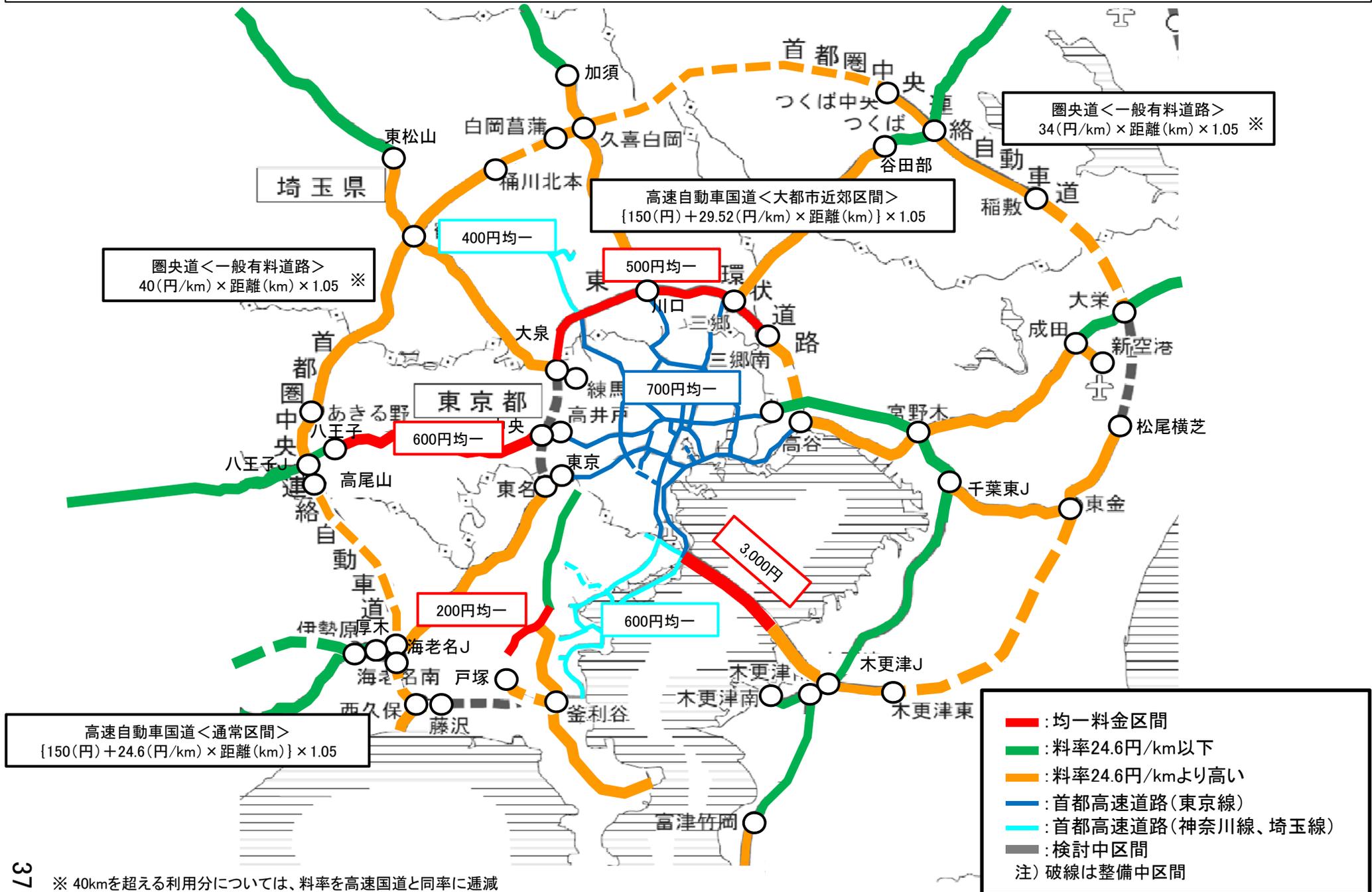


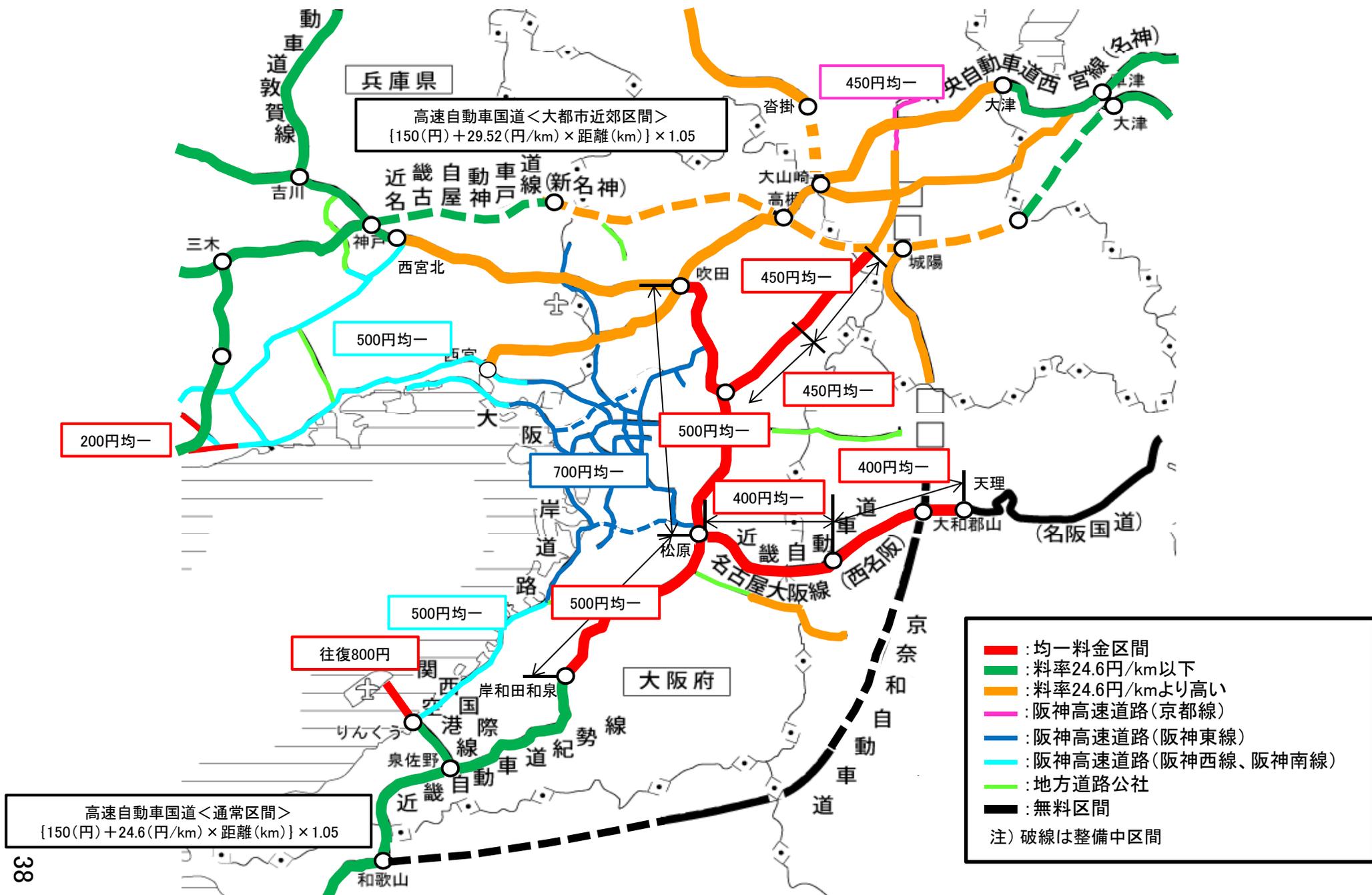
高速道路の基礎的な料金体系



首都圏の料金体系[現行定価料金(普通車)]



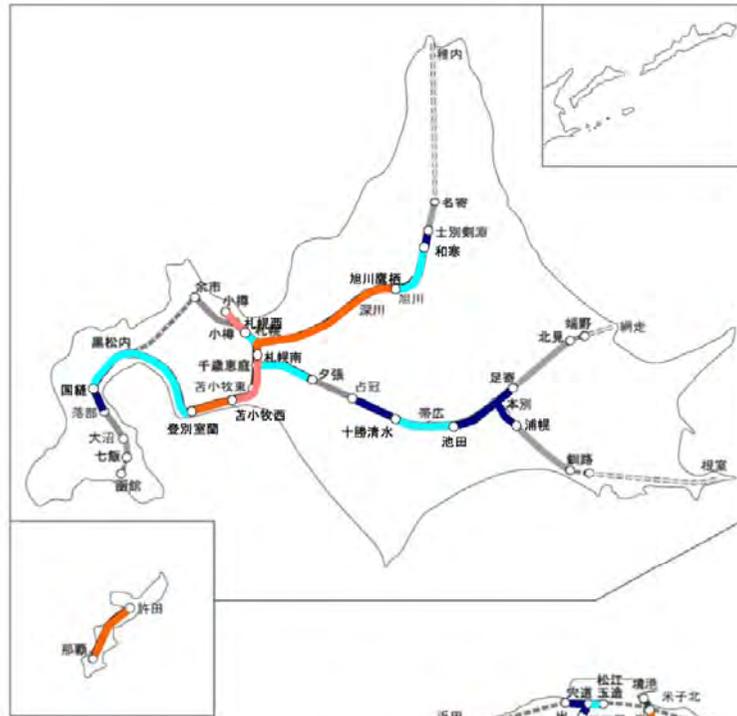
近畿圏の料金体系[現行定価料金(普通車)]



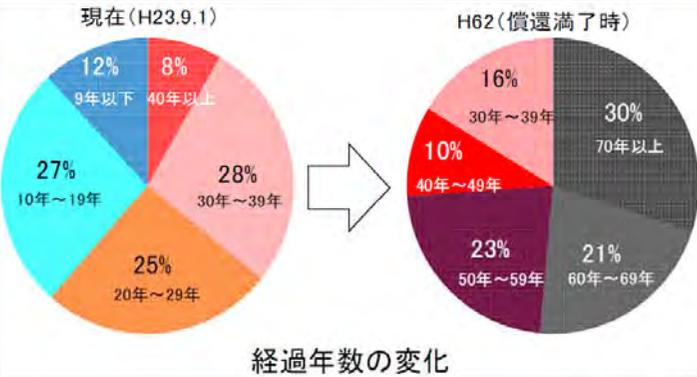
高速国道(有料)の償還期間の経緯

料金改定時期	S47.10	S50.4	S54.8	S57.6	S60.10	H1.6	H7.4	H11.4	H13.12	H17.10	
主な改定理由	プール制導入	・新規施行命令区間追加 ・建設費等の上昇		・諸物価の高騰 ・交通需要の低迷	・新規施行命令区間追加 ・建設費等の上昇			特殊法人等整理合理化計画	民営化		
対象延長	3,895km	4,816km	5,415km	5,415km	5,777km	6,410km	7,887km	9,006km	9,342km	9,342km	
普通車料金水準 (ターミナルチャージ)	8.0円/km	13.0円/km (100円)	16.6円/km (100円)	19.6円/km (100円)	21.7円/km (100円)	23.0円/km (150円)	24.6円/km (150円)		24.6円/km (150円)	固定 →	
償還期間	約30年間						40年間 (H4.6～)	45年間 (H11.1～)	50年を上限として短縮を目指す	45年間 (H62迄)	固定 →
	固定 →										

高速自動車国道の供用後の経過年数



40年以上 (昭和38年度～昭和45年度供用)	650km (8%)
30年～39年 (昭和46年度～昭和55年度供用)	2,186km (28%)
20年～29年 (昭和56年度～平成2年度供用)	2,018km (25%)
10年～19年 (平成3年度～平成12年度供用)	2,115km (27%)
9年以下 (平成13年度～平成23年9月1日供用)	937km (12%)



経過年数の変化



凡 例	
—	予定路線
----	基本計画
—	整備計画 9,428km
—	供用区間 (7,906km)
—	社会区間
—	直轄区間
—	事業中区間 (1,522km)
—	社会区間
—	直轄区間

平成23年9月1日現在